



Title	ハンズ・オン・ワークショップによるベンチ制作教育
Author(s)	川島, 洋一
Citation	デザイン理論. 2014, 63, p. 120-121
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/56382
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ハンズ・オン・ワークショップによるベンチ制作教育 川島洋一／福井工業大学



ホームセンターなどで容易に入手できるSPF木材(2×4, 1×4, 2×2)を用いて、ベンチ制作のワークショップ形式の実習課題を勤務校にて長年実施している。美しい形態のベンチをデザインするのが主目的ではない。また、実習の対象は1年生としており、高度な木工技術の習得を目指しているのではない。課題をイスではなく、ベンチとしているのは、複数の人間が利用する場面を想定し、モノを媒介としてコミュニケーションをデザインすること、最終的な成果物を原寸で実際に製作することによりすべてのデザインプロセスを体験すること、さらにモジュールの概念を理解することなどを主眼としている。





この材料は柔らかいため高度な加工技術
を必要とせず、丸ノコ切断機、ドリルドライバ、
サンダーなどの簡単な道具で加工できる。
作業の安全性も高い。完成した作品は木肌

が美しく、室内に設置する範囲では塗装仕
上げを必要としない。この手法の開発に当
たっては、平成14～16年度 文部科学省
科学研究費(萌芽研究)の支給を受けた。

